

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	有限会社エス・アイ・ピー ネクストエール小金井本町教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日	~	令和7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 14日	~	令和7年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた支援を実施できている	取り組んだ活動の振り返りを行い、特に良くなかった点について次にどうするかを話し合い、実際にを行いどうだったか再度振り返りを行っています。	常に全体で共有出来る体制を整えると共に意見の言いやすい職場環境に常になっているか意識していく。
2	安心して通える環境づくり	1日の活動内容をホワイトボードに掲示し確認を行うや支援カードなどの作成し活用して、見通しを持って安心して活動に参加出来るようにしています。	支援カードなどをもっと充実させて、更にコミュニケーションが行いやすい環境を整えていきたいです。利用児達が興味持つ楽しみにして通って来てもらえるような活動内容提供できるようにしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアル等の整備を行えてはいるが、保護者様に認知されていない。	保護者会等を行えていない為、周知出来ていなかった。	今年度に保護者会を行う予定なので事前に保護者様に通知し、より多くのご家庭に教室のことを知りていただけるように取り組んでいく。
2	保護者会やペアレントトレーニングなどの保護者様に向けた取り組みを行えていない。	職員の入れ替えが激しく、日々の療育を安全に行っていくことだけになってしまっていた。	保護者会を通して保護者様の悩みなどをお聞きし、利用者様の生活に役立てることができるような取り組み、研修を設定していく。
3	専門的な職員の配置ができていない（作業療法士・理学療法士等）	より専門的な職員を配置し、能力が生かせる環境づくりができていないため、専門職よりも児童指導員、保育士等の採用が多くなってしまっている。	FC本部などで行っている専門職員による個別の取り組みなどを研修させていただき、教室運営に役立てていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		保護者等からの事業所評価の集計結果						
		公表日			利用児童数 15名 回収数 12枚			
事業所名		ネクストエール小金井本町教室						
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 10	どちらともいえない 1	いいえ 1	わからない 4	ご意見 見たことがないためわからない 放ディと児童のスペースがパーテーションで区切られているため少々狭い気がする	ご意見を踏まえた対応 保護者会を設ける予定なので、教室を直接見見ていただけます。 午前中は児童発達支援のお子様がスペースを広げるために放課後等デイサービスのお子様の活動を工夫していきます。(外出活動等)
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8				見たことがないためわからない	保護者会を設ける予定なので、教室を直接見見ていただけます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1		3	見たことがないためわからない	保護者会を設ける予定なので、教室を直接見見ていただけます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			1	見たことがないためわからない	保護者会を設ける予定なので、教室を直接見見ていただけます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1		2	子どものことは理解してもらっているが専門性のある支援かどうかはわからない。どの専門なのかもわかりづらい。作業療法士がいたらありがたい 1と同上 (わからない回答)	専門的な支援ができるように会議を開いて行っています。 月に1回は研修を行っているためより専門的な支援ができるように取り組んでいます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	12					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			2	未回答1 特性に合わせたプログラムを組んでくれている。	ありがとうございます。 今後も取り組んでいます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1		9	あったらよい 1と同上 (わからない回答)	現在はありませんが、交流ができる環境を整備していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2		2	8	1と同上 (わからない回答)	今年度は行えておりませんが、来年度以降は検討させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11				未回答1	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	2		4	1と同上 (わからない回答)	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	4	6	療育中は兄弟同士の交流がある。 父母会、保護者会は今までないが、自由参加でよい 1と同上 (わからない回答)	保護者会は25年度に行う予定になっております。 きょうだい児向けのイベントも検討させていただきます。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9			3	1と同上（わからない回答）	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1		4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		2	未回答1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1		4	1と同上（わからない回答）	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1	1	4	発生したことがない（いいえ回答） 1と同上（わからない回答）	療育中に怪我、体調不良等が発生した場合は、早急に保護者様にご連絡させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11			1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				いろいろなプログラムを考えて助かっている。できることが増え成長を感じている。 作業療法士がいてくれるとありがたい。	ありがとうございます。 作業療法士に関しては、外部提携も視野に入れて検討させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ネクストエール小金井本町教室				
		公表日 令和7年 3月 15日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		パーテーション等を活用して個別のは部屋を作つて気持ちを落ち着かせるスペースを作つていている。また相談室も用いている。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		職員の入れ替えがあり、できていたか自信がない。また広くは行えていないため、環境設定を行っていく。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	終礼時や引継ぎノートなどを用いて児童対応や業務内容についての検討を行つてている	個人的にはそのような機会がなかった。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	ネクストエール本部からの評価があり、業務改善につなげている。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	支援の仕方などの研修は行つてている。		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		制作や季節の歌は分担し、決定している。		

供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		朝礼を行っているが、出勤時間がずれる職員に対してその日の内容が伝わり切れていないことがある。そのためリーダーの職員が細かく伝えしていくようにしていく。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		早上がりの職員に共有がしきれていないことがあるため、日誌や引継ぎノートを用いて確認していただくように周知していく。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		相談支援事業所の方が来所し、会議を行っている。	
関係機関や保護者との連携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		初年度で行えていないため、今年度からは支援計画を作成する段階から視野に入れ児童の支援の充実に努める。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学校部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		まだ就学移行の児童がいないため行えていない。対応児童が利用した場合は、保護者様、学校等と連携をとり就学移行に繋げていく
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2		連携はあるがスーパーバイズなどのやり取りはない。現状の支援に満足せず、助言をいただくように取り組んでいく
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	公園等で自然に関わる機会がある。	初年度で行えていない。意図的に交流会などに参加することがないため機会を設けるように検討していく。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時にその日の様子を保護者様に伝えている。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		初年度で行えていない。来年度からは保護者様向けの研修を実施する機会を設けられるように検討していく。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			

保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		初年度でまだ実施していないが、来年度は行う予定
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		事業所として地域の方を招待して行う行事を行えていないため、行えるように検討していく。
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
非常時等の対応	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		毎月、避難訓練を実施している	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		